

令和7年度 デマンドサイドマネジメント表彰 説明会

令和6年9月9日（月）～13日（金）

1

本日のご説明内容

- デマンドサイドマネジメント表彰とは
- 応募対象
- 表彰内容
- 応募方法、評価指標、記載項目
- 審査の流れと広報
- 質疑応答

2

デマンドサイドマネジメント表彰とは

電気需要最適化に資する機器・システム、
および建築事例を表彰する表彰制度

3

デマンドサイドマネジメント表彰とは

「電気需要最適化」

電気需要を柔軟にコントロールすることを可能
とすること

4

デマンドサイドマネジメント表彰とは

「電気需要最適化」

- ◆ 上げDR、下げDRへの対応は典型
- ◆ 省エネルギーによるピークカットも含まれる

5

応募対象

以下の2つの部門を有する。

- ① 機器部門
- ② 総合システム部門

6

応募対象

【機器部門】

電気需要最適化（需要側）に資する以下の機器・システム。

（応募時点で、すでに商品化されているか、研究開発済みで商品化見込みのもの。）

- ヒートポンプ機器・システム
（吸収式・吸着式等の熱駆動ヒートポンプを含む）
- 蓄熱システム
- ヒートポンプ機器の制御システム

7

応募対象

【総合システム部門】

ヒートポンプ技術を活用し、電気需要最適化に資する建築事例。

（既存設備の改善による場合を含む）

8

応募対象

【総合システム部門】

- 「蓄熱」「蓄電池」は、必須としない。
- 施工済みで、実績データのあるもの。
(通年データまでは必須ではない)

9

表彰内容

- ◆経済産業省資源エネルギー庁長官賞
- ◆(一財) ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞
- ◆優秀賞

※ 各賞とも部門毎に表彰

10

表彰内容（イメージ）



11

応募方法

- まずは、「応募予定票」をメール提出（～10/13）
- 応募申請書をメール提出（～11/15）
 - ① PDF（押印済み）
 - ② WORD

※ 郵送による提出は不要

12

評価指標、記載項目

令和7年度表彰

電気需要最適化
効果

省エネルギー性

先進性・創造性

普及性

13

評価指標、記載項目

<環境保全性>

- 低GWPの採用、ヒートアイランド効果の低減など、先進性や普及性を向上させるものである場合には、それぞれの項目で加点要素となる。

<事業継続性、防災性>

- 普及性を向上させるものとして加点要素となる。

14

評価指標、記載項目

<コージェネレーションシステム>

- ヒートポンプ・蓄熱システムを評価対象としている当表彰制度の趣旨から、ピークカット効果は、評価対象外。
- 排熱を熱駆動ヒートポンプで先進的に活用している場合には、先進性で評価される。
- 事業継続性を高めている場合には、普及性で評価される。

15

審査の流れ

【書面審査】

- 応募申請書に基づき、1月までに一次審査。
→ 1月中に結果を通知

16

審査の流れ

【発表審査】

- 選抜件名を対象に、**ヒアリングと質疑応答**を実施。
- 質疑込み30分程度を予定
(前回までは15~20分)

17

審査の流れ

【結果通知】

- 3月中に通知。
- 長官賞は、METIへの推薦の通知となり、
正式決定は5月頃。

18

審査の流れ

【表彰式】

- 6月2日（月）にKKRホテルで開催予定。
- 対外公表は、表彰式当日。

19

表彰式@KKRホテル東京



20

広報

○ロゴマークの利用許可
HP、カタログ及び
店頭ポップ等に利用で
きます。



23

皆様からのご応募を
お待ちしております
おります。

24